

ダイワ・スイス 高配当株ツインα (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第143期(決算日 2026年1月19日)
第144期(決算日 2026年2月17日)
第145期(決算日 2026年3月17日)
第146期(決算日 2026年4月17日)
第147期(決算日 2026年5月18日)
第148期(決算日 2026年6月17日)

(作成対象期間 2025年12月18日～2026年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2013年12月18日～2028年12月15日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、配当利回りの高いスイス株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			スイス SMI 指数 (配当込み、円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 入 率 組 比	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
119期末 (2024年 1月17日)	5,513	40	3.2	29,015	5.1	171.10	4.7	—	98.6	8,699
120期末 (2024年 2月19日)	5,563	40	1.6	29,120	0.4	170.49	△ 0.4	—	98.7	8,709
121期末 (2024年 3月18日)	5,678	40	2.8	30,146	3.5	168.99	△ 0.9	0.0	98.5	8,775
122期末 (2024年 4月17日)	5,508	40	△ 2.3	29,232	△ 3.0	169.65	0.4	0.0	99.4	8,418
123期末 (2024年 5月17日)	5,761	40	5.3	31,848	8.9	171.48	1.1	0.0	98.8	8,726
124期末 (2024年 6月17日)	5,850	40	2.2	33,168	4.1	176.84	3.1	0.0	98.6	8,735
125期末 (2024年 7月17日)	5,928	40	2.0	33,851	2.1	177.30	0.3	0.0	98.6	8,720
126期末 (2024年 8月19日)	5,707	40	△ 3.1	32,384	△ 4.3	170.62	△ 3.8	0.0	98.6	8,349
127期末 (2024年 9月17日)	5,560	40	△ 1.9	31,140	△ 3.8	166.57	△ 2.4	0.0	99.4	8,046
128期末 (2024年10月17日)	5,808	40	5.2	32,855	5.5	172.81	3.7	0.0	99.2	8,291
129期末 (2024年11月18日)	5,611	40	△ 2.7	31,528	△ 4.0	173.90	0.6	0.0	98.7	7,941
130期末 (2024年12月17日)	5,618	40	0.8	31,504	△ 0.1	172.66	△ 0.7	0.0	98.8	7,899
131期末 (2025年 1月17日)	5,504	40	△ 1.3	31,751	0.8	170.51	△ 1.2	0.0	98.7	7,675
132期末 (2025年 2月17日)	5,602	40	2.5	33,789	6.4	168.77	△ 1.0	0.0	98.7	7,699
133期末 (2025年 3月17日)	5,534	40	△ 0.5	34,067	0.8	168.26	△ 0.3	0.0	98.6	7,571
134期末 (2025年 4月17日)	5,216	40	△ 5.0	32,232	△ 5.4	174.78	3.9	0.0	98.6	7,089
135期末 (2025年 5月19日)	5,464	40	5.5	34,326	6.5	173.56	△ 0.7	0.0	98.9	7,299
136期末 (2025年 6月17日)	5,461	40	0.7	34,606	0.8	178.12	2.6	0.0	98.5	7,223
137期末 (2025年 7月17日)	5,582	40	2.9	35,419	2.3	185.06	3.9	0.0	99.3	7,309
138期末 (2025年 8月18日)	5,589	40	0.8	35,471	0.1	182.82	△ 1.2	0.0	98.9	7,226
139期末 (2025年 9月17日)	5,639	40	1.6	35,976	1.4	186.28	1.9	0.0	98.7	7,259
140期末 (2025年10月17日)	5,801	40	3.6	38,798	7.8	189.81	1.9	0.0	98.6	7,427
141期末 (2025年11月17日)	5,862	40	1.7	39,583	2.0	194.69	2.6	0.0	98.6	7,344
142期末 (2025年12月17日)	5,941	40	2.0	40,873	3.3	194.53	△ 0.1	0.0	99.3	7,358
143期末 (2026年 1月19日)	6,083	40	3.1	42,590	4.2	197.31	1.4	0.0	98.5	7,530
144期末 (2026年 2月17日)	6,140	40	1.6	43,769	2.8	199.17	0.9	0.0	99.2	7,503
145期末 (2026年 3月17日)	5,871	40	△ 3.7	42,349	△ 3.2	202.12	1.5	0.0	98.6	7,118
146期末 (2026年 4月17日)	5,989	40	2.7	43,916	3.7	203.47	0.7	0.0	98.6	7,205
147期末 (2026年 5月18日)	5,986	40	0.6	44,146	0.5	201.87	△ 0.8	0.0	98.5	7,189
148期末 (2026年 6月17日)	6,162	40	3.6	46,129	4.5	202.35	0.2	0.0	98.6	7,335

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) スイス SMI 指数（配当込み、円換算）は、スイス SMI 指数（配当込み、スイス・フランベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

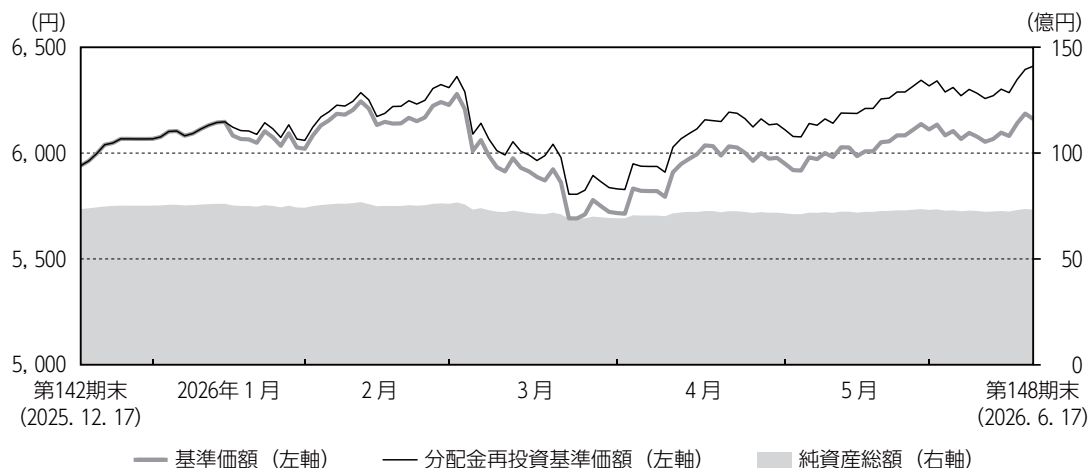
(注 6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第143期首：5,941円

第148期末：6,162円（既払分配金240円）

騰落率：7.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スイス株式市況の上昇やスイス・フランが対円で上昇（円安）したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オプション取引については、通貨オプションは小幅なプラス要因となったものの、株価指数オプションはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		スイス S M I 指数 (配当込み、円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 比 率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第143期	(期 首) 2025年12月17日	円 5,941	% —	40,873	% —	円 194.53	% —	% 0.0	% 99.3
	12月末	6,068	2.1	42,273	3.4	198.40	2.0	0.0	99.3
	(期 末) 2026年 1 月19日	6,123	3.1	42,590	4.2	197.31	1.4	0.0	98.5
第144期	(期 首) 2026年 1 月19日	6,083	—	42,590	—	197.31	—	0.0	98.5
	1 月末	6,021	△ 1.0	42,382	△ 0.5	200.31	1.5	0.0	99.0
	(期 末) 2026年 2 月17日	6,180	1.6	43,769	2.8	199.17	0.9	0.0	99.2
第145期	(期 首) 2026年 2 月17日	6,140	—	43,769	—	199.17	—	0.0	99.2
	2 月末	6,228	1.4	45,108	3.1	201.46	1.1	0.0	99.3
	(期 末) 2026年 3 月17日	5,911	△ 3.7	42,349	△ 3.2	202.12	1.5	0.0	98.6
第146期	(期 首) 2026年 3 月17日	5,871	—	42,349	—	202.12	—	0.0	98.6
	3 月末	5,717	△ 2.6	41,342	△ 2.4	200.13	△ 1.0	0.0	98.7
	(期 末) 2026年 4 月17日	6,029	2.7	43,916	3.7	203.47	0.7	0.0	98.6
第147期	(期 首) 2026年 4 月17日	5,989	—	43,916	—	203.47	—	0.0	98.6
	4 月末	5,950	△ 0.7	43,644	△ 0.6	202.74	△ 0.4	0.0	98.7
	(期 末) 2026年 5 月18日	6,026	0.6	44,146	0.5	201.87	△ 0.8	0.0	98.5
第148期	(期 首) 2026年 5 月18日	5,986	—	44,146	—	201.87	—	0.0	98.5
	5 月末	6,112	2.1	45,481	3.0	203.30	0.7	0.0	98.8
	(期 末) 2026年 6 月17日	6,202	3.6	46,129	4.5	202.35	0.2	0.0	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 12. 18 ~ 2026. 6. 17)

■ スイス株式市況

スイス株式市況は上昇しました。

スイス株式市況は、当作成期首より投資家心理の改善などを背景に上昇基調で始まり、2026年1月中旬にかけて堅調に推移しました。その後は、1月末にかけては利益確定売りなどから反落しましたが、2月に入ると、欧州企業の良好な決算内容やスイス景気の底堅さなどが支援材料となり、株価は再び上昇しました。3月に入り、中東情勢の緊迫化や原油価格の上昇に伴うインフレ懸念などが重しとなり、株価は調整しました。しかし3月下旬以降は、過度な警戒感が和らいだことや、欧米株式市場の底堅い推移などが支援材料となり、当作成期末まで株価はおおむね上昇基調で推移しました。

■ スイス株価指数オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は期首比でおおむね横ばいでした。

当作成期首より、スイス株式市場が堅調に推移する中、インプライド・ボラティリティはおおむね横ばい圏で推移しました。2026年3月に入ると、中東情勢の緊迫化や原油価格の上昇に伴うインフレ懸念などを背景に株価が調整したことから、インプライド・ボラティリティは上昇しました。しかしその後は、過度な警戒感が和らいだことや株価が反発したことなどをを受けて緩やかに低下し、当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

スイス・フランは対円で上昇（円安）しました。

対円為替相場は、当作成期首より底堅く推移しました。2026年1月中旬以降は、地政学的リスクへの警戒感などを背景に、相対的に安全資産とみなされるスイス・フランが選好されました。2月中旬には、日銀の金融政策をめぐる思惑などを背景に円買いが進み、スイス・フランは下落（円高）しました。しかしその後は、中東情勢をめぐる不透明感などを背景にスイス・フランが買われ、対円で上昇しました。4月末には、日本当局による円買い介入を受けて再び下落する場面も見られましたが、その後は当作成期末にかけて底堅く推移しました。

■ スイス・フラン／円為替オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は期首比でおおむね横ばいでした。

当作成期首より、インプライド・ボラティリティはおおむね落ち着いた動きとなりましたが、2026年1月下旬には、為替介入への警戒感などを背景とした円相場の急変動により、上昇しました。その後は、中東情勢やS N B（スイス国立銀行）の金融政策スタンスをめぐる不透明感が残る中、方向感に乏しい推移となりました。4月以降は、スイス・フラン円相場が底堅く推移する中で、インプライド・ボラティリティは低位で安定した動きとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

スイス株式部分に関しては、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てて投資を行います。スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざします。株式カバードコール戦略では、スイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では、円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りをを行います。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

■ ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 12. 18 ~ 2026. 6. 17)

■当ファンド

「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資しました。「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

現物株式ポートフォリオについては、相対的に配当利回りの高いスイス株式に投資しました。参考指数との対比では、セクター別では、資本財・サービスのオーバーウエート、生活必需品セクターおよびヘルスケアセクターのアンダーウエートなどがプラス要因となりました。一方、一般消費財・サービスのアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、主にABBおよびUBS Groupのオーバーウエートなどがプラス要因となりました。一方、Swiss ReおよびLonza Groupのオーバーウエートなどがマイナス要因となりました。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行いました。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

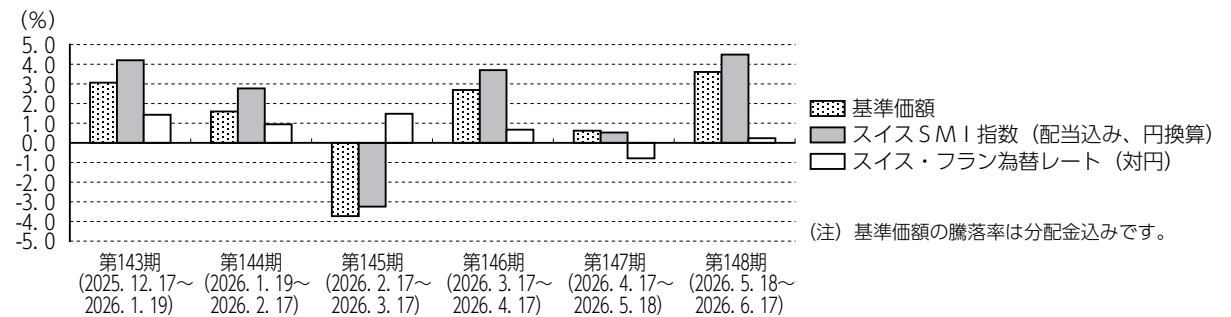
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第143期 2025年12月18日 ～2026年1月19日	第144期 2026年1月20日 ～2026年2月17日	第145期 2026年2月18日 ～2026年3月17日	第146期 2026年3月18日 ～2026年4月17日	第147期 2026年4月18日 ～2026年5月18日	第148期 2026年5月19日 ～2026年6月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.65	0.65	0.68	0.66	0.66	0.64
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,263	2,286	2,300	2,323	2,376	2,466

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 60.43円	✓ 62.12円	✓ 54.25円	✓ 62.83円	✓ 93.26円	✓ 129.78円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	304.18	308.90	313.09	316.72	322.71	326.51
(d) 分配準備積立金	1,939.30	1,955.05	1,973.02	1,983.66	2,000.63	2,050.13
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,303.91	2,326.09	2,340.37	2,363.22	2,416.60	2,506.43
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,263.91	2,286.09	2,300.37	2,323.22	2,376.60	2,466.43

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

スイス株式部分に関しては、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てて投資を行います。スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざします。株式カバードコール戦略では、スイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では、円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りをを行います。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

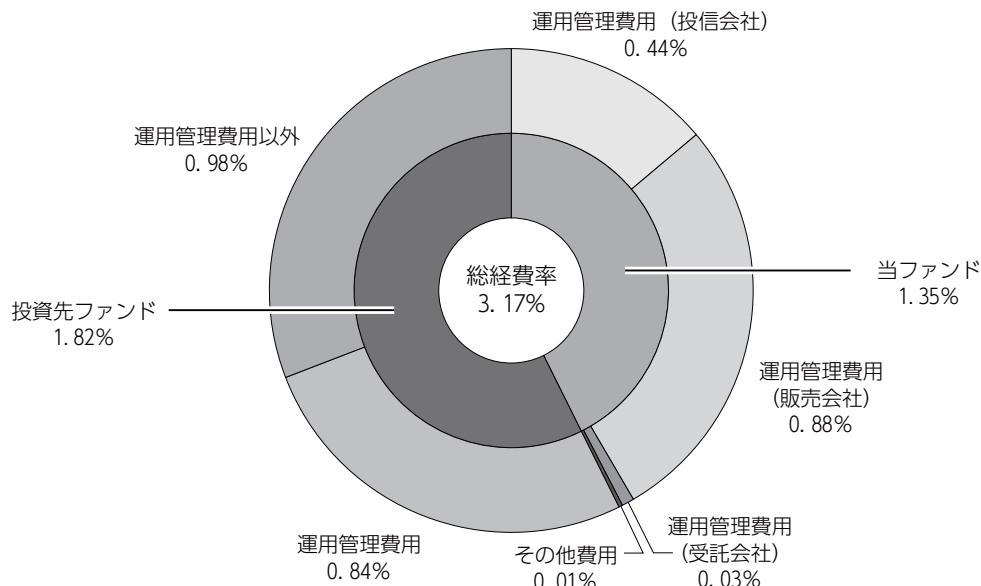
項 目	第143期～第148期 (2025. 12. 18～2026. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0. 670%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6, 030円です。
（投 信 会 社）	(13)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(26)	(0. 438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0. 674	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.17%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.17%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.98%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2025年12月18日から2026年 6月17日まで)

決 算 期		第 143 期 ～ 第 148 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国（邦貨建）	UBS（CAY）SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND（ケイマン諸島）	千口	千円	千口	千円
		14, 145. 16303	593, 538	16, 250. 10192	685, 000

（注 1）金額は受渡し代金。
（注 2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 148 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） UBS（CAY）SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	171, 132. 11761	7, 231, 529	98. 6

（注 1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注 2）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年 6月17日現在

項 目	第 148 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	7, 231, 529	97. 8
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	163, 454	2. 2
投資信託財産総額	7, 394, 985	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 142 期 末	第 148 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1	1	1

（注）単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年 1月19日)、(2026年 2月17日)、(2026年 3月17日)、(2026年 4月17日)、(2026年 5月18日)、(2026年 6月17日) 現在

項 目	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末
(A) 資産	7,590,556,388円	7,561,239,891円	7,218,059,429円	7,272,938,592円	7,252,413,893円	7,394,985,585円
コール・ローン等	170,039,664	118,141,138	200,055,253	166,781,485	170,677,559	163,454,668
投資信託受益証券（評価額）	7,420,515,703	7,443,097,732	7,018,003,154	7,106,156,084	7,081,735,311	7,231,529,893
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	1,021	1,021	1,022	1,023	1,023	1,024
(B) 負債	59,646,470	57,855,706	99,506,936	67,320,185	63,048,578	59,786,278
未払収益分配金	49,522,238	48,883,668	48,497,439	48,126,401	48,041,877	47,618,211
未払解約金	900,494	799,655	43,185,198	10,895,918	6,526,386	3,801,510
未払信託報酬	9,167,627	8,066,898	7,671,857	8,095,872	8,227,960	8,064,842
その他未払費用	56,111	105,485	152,442	201,994	252,355	301,715
(C) 純資産総額（A－B）	7,530,909,918	7,503,384,185	7,118,552,493	7,205,618,407	7,189,365,315	7,335,199,307
元本	12,380,559,749	12,220,917,081	12,124,359,980	12,031,600,351	12,010,469,356	11,904,552,990
次期繰越損益金	△ 4,849,649,831	△ 4,717,532,896	△ 5,005,807,487	△ 4,825,981,944	△ 4,821,104,041	△ 4,569,353,683
(D) 受益権総口数	12,380,559,749口	12,220,917,081口	12,124,359,980口	12,031,600,351口	12,010,469,356口	11,904,552,990口
1万口当り基準価額（C／D）	6,083円	6,140円	5,871円	5,989円	5,986円	6,162円

* 当作成期首における元本額は12,385,138,402円、当作成期間（第143期～第148期）中における追加設定元本額は155,657,615円、同解約元本額は636,243,027円です。

* 第148期末の計算口数当りの純資産額は6,162円です。

* 第148期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,569,353,683円です。

■損益の状況

第143期 自2025年12月18日 至2026年 1月19日 第145期 自2026年 2月18日 至2026年 3月17日 第147期 自2026年 4月18日 至2026年 5月18日
第144期 自2026年 1月20日 至2026年 2月17日 第146期 自2026年 3月18日 至2026年 4月17日 第148期 自2026年 5月19日 至2026年 6月17日

項 目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
(A) 配当等収益	77,887,159円	81,129,068円	73,499,694円	78,843,798円	120,288,603円	159,386,443円
受取配当金	77,851,562	81,074,918	73,465,013	78,779,607	120,222,387	159,329,429
受取利息	35,597	54,150	34,681	64,191	66,216	57,014
(B) 有価証券売買損益	156,126,160	45,315,402	△ 342,725,599	118,916,989	△ 67,555,931	105,527,271
売買益	156,360,601	45,954,188	2,247,846	119,155,488	354,442	106,566,473
売買損	△ 234,441	△ 638,786	△ 344,973,445	△ 238,499	△ 67,910,373	△ 1,039,202
(C) 信託報酬等	△ 9,223,738	△ 8,116,272	△ 7,718,814	△ 8,145,424	△ 8,278,321	△ 8,114,202
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	224,789,581	118,328,198	△ 276,944,719	189,615,363	44,454,351	256,799,512
(E) 前期繰越損益金	△ 1,998,201,715	△ 1,795,135,097	△ 1,708,453,990	△ 2,014,667,085	△ 1,864,423,058	△ 1,848,149,068
(F) 追加信託差損益金	△ 3,026,715,459	△ 2,991,842,329	△ 2,971,911,339	△ 2,952,803,821	△ 2,953,093,457	△ 2,930,385,916
(配当等相当額)	(376,596,985)	(377,511,534)	(379,605,705)	(381,067,164)	(387,595,527)	(388,700,287)
(売買損益相当額)	(△ 3,403,312,444)	(△ 3,369,353,863)	(△ 3,351,517,044)	(△ 3,333,870,985)	(△ 3,340,688,984)	(△ 3,319,086,203)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 4,800,127,593	△ 4,668,649,228	△ 4,957,310,048	△ 4,777,855,543	△ 4,773,062,164	△ 4,521,735,472
(H) 収益分配金	△ 49,522,238	△ 48,883,668	△ 48,497,439	△ 48,126,401	△ 48,041,877	△ 47,618,211
次期繰越損益金（G＋H）	△ 4,849,649,831	△ 4,717,532,896	△ 5,005,807,487	△ 4,825,981,944	△ 4,821,104,041	△ 4,569,353,683
追加信託差損益金	△ 3,026,715,459	△ 2,991,842,329	△ 2,971,911,339	△ 2,952,803,821	△ 2,953,093,457	△ 2,930,385,916
(配当等相当額)	(376,596,985)	(377,511,534)	(379,605,705)	(381,067,164)	(387,595,527)	(388,700,287)
(売買損益相当額)	(△ 3,403,312,444)	(△ 3,369,353,863)	(△ 3,351,517,044)	(△ 3,333,870,985)	(△ 3,340,688,984)	(△ 3,319,086,203)
分配準備積立金	2,426,262,292	2,416,300,421	2,409,449,320	2,414,139,479	2,466,824,413	2,547,481,964
繰越損益金	△ 4,249,196,664	△ 4,141,990,988	△ 4,443,345,468	△ 4,287,317,602	△ 4,334,834,997	△ 4,186,449,731

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
(a) 経費控除後の配当等収益	74,817,499円	75,921,668円	65,780,880円	75,596,217円	112,010,282円	154,504,128円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	376,596,985	377,511,534	379,605,705	381,067,164	387,595,527	388,700,287
(d) 分配準備積立金	2,400,967,031	2,389,262,421	2,392,165,879	2,386,669,663	2,402,856,008	2,440,596,047
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,852,381,515	2,842,695,623	2,837,552,464	2,843,333,044	2,902,461,817	2,983,800,462
(f) 分配金	49,522,238	48,883,668	48,497,439	48,126,401	48,041,877	47,618,211
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,802,859,277	2,793,811,955	2,789,055,025	2,795,206,643	2,854,419,940	2,936,182,251
(h) 受益権総口数	12,380,559,749□	12,220,917,081□	12,124,359,980□	12,031,600,351□	12,010,469,356□	11,904,552,990□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金 (税込み)	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・
ツイン・アルファ・ファンド

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

財政状態計算書

2025年11月30日

資産

金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）	¥	7,139,231,921
現金および現金同等物		229,003,488
担保としてブローカーが保有する現金		102,420,386
その他資産		597,187
資産合計		7,471,252,982

負債

金融負債（損益通算後の公正価値による評価額）		109,372,884
保管会社に対する未払金		1,467,978
未払：		
有価証券購入		4,792,466
投資管理報酬		7,285,579
専門家報酬		4,144,486
管理会社報酬		1,279,021
保管会社報酬		564,740
受託会社報酬		213,005
名義書換代理人報酬		199,530
登録料		2,000
その他負債		16,174
負債合計		129,337,863
償還可能資本参加型受益証券の保有者に帰属する純資産	¥	7,341,915,119

包括利益計算書

2025年11月30日に終了した年度

収益

受取利息、配当収益、その他収益、金融資産および負債（損益通算後の公正価値による評価額）やデリバティブ金融資産および負債、外国為替取引に係る純実現損益および評価損益の純変動

¥ 1,326,496,600

費用

投資管理報酬 44,156,674
管理会社報酬 6,286,987
保管会社報酬 4,291,402
専門家報酬 3,942,406
受託会社報酬 1,563,150
取引費用 1,359,748
名義書換代理人報酬 1,195,158
登録料 783,795
支払利息 179,304
その他費用 16,174
営業費用合計 63,774,798

金融費用控除前営業損益 1,262,721,802

金融費用

償還可能資本参加型受益証券の保有者への分配 (1,093,191,766)

分配後税引前損益 169,530,036

源泉徴収税 (72,888,680)

運用の結果による償還可能資本参加型受益証券の保有者に
帰属する純資産の増減額 ¥ 96,641,356

投資明細
2025年11月30日

株数	銘柄名	純資産に 占める割合（％）	公正価値による 評価額
	普通株式（97.2%）		
	スイス（97.2%）		
	銀行（12.9%）		
7,422	Banque Cantonale Vaudoise	1.9	¥ 140,493,153
7,340	Cembra Money Bank AG	1.9	135,446,031
100,916	UBS Group AG*	8.3	608,383,006
2,192	Valiant Holding AG	0.8	59,640,852
			943,963,042
	建築材料（4.1%）		
20,549	Holcim AG	4.1	300,399,548
	化学（5.8%）		
740	EMS-Chemie Holding AG	1.1	78,811,126
524	Givaudan SA	4.7	344,922,668
			423,733,794
	商業サービス（2.2%）		
8,865	SGS S. A.	2.2	158,780,242
	コンピューター（0.6%）		
24,808	Softwareone Holding AG	0.6	42,885,745
	流通・卸売（0.6%）		
1,488	Bossard Holding AG	0.6	45,402,298
	総合金融サービス（0.5%）		
3,190	Vontobel Holding AG	0.5	37,631,768
	電気部品・設備（7.2%）		
47,455	ABB, Ltd.	7.2	532,333,201
	食品（9.6%）		
45,360	Nestle SA	9.6	703,743,551
	ヘルスケア製品（1.1%）		
4,487	Straumann Holding AG	1.1	79,877,929
	ヘルスケアサービス（3.7%）		
2,554	Lonza Group AG	3.7	272,997,604
	保険（17.3%）		
1,370	Swiss Life Holding AG	3.2	234,516,350
15,077	Swiss Re AG	5.6	414,763,052
5,545	Zurich Insurance Group AG	8.5	622,018,248
			1,271,297,650
	インターネット（0.5%）		
6,081	SMG Swiss Marketplace Group AG	0.5	40,536,325

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

株数	銘柄名	純資産に 占める割合（％）	公正価値による 評価額
	総合機械（2.2%）		
7,145	Accelleron Industries AG	1.2	88,106,736
5,532	Georg Fischer AG	0.8	57,035,180
825	Inficon Holding AG	0.2	16,097,666
			161,239,582
	金属製品・ハードウェア（0.8%）		
3,128	SFS Group AG	0.8	62,371,955
	その他製造（0.8%）		
1,826	Daetwyler Holding AG	0.8	55,502,529
	医薬品（20.2%）		
5,062	Galenica AG	1.2	89,671,424
34,973	Novartis AG	9.7	710,135,633
11,493	Roche Holding AG	9.3	686,613,792
			1,486,420,849
	小売（5.0%）		
11,094	Cie Financiere Richemont SA	5.0	367,179,193
	通信（2.1%）		
1,365	Swisscom AG	2.1	152,935,116
	スイス合計		7,139,231,921
	普通株式合計（簿価 ¥4,137,197,587）		¥ 7,139,231,921

2025年11月30日時点の売建オプション残高（純資産の－1.50%）

銘柄名	行使価格	満期日	契約数	受取プレミアム	評価額
Call - OPTIDX Index Option	¥ 12,633	12/19/2025	1,380	¥ (51,807,065)	¥ (75,182,903)
Call - OTC Swiss Franc versus Japanese Yen	194	12/19/2025	17,317,000	(31,868,568)	(34,189,981)
				¥ (83,675,633)	¥ (109,372,884)

* 利害関係人

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2025年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第148期の決算日（2026年6月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年12月18日から2026年6月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1370国庫短期証券 2026/6/22	648,695	1370国庫短期証券 2026/6/22	529,377
1385国庫短期証券 2026/9/7	129,708		
1377国庫短期証券 2026/7/27	79,842		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年6月17日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（542,783千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	2026年6月17日現在						
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 330,000	千円 329,642	% 60.4	% —	% —	% —	% 60.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2026年6月17日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
国債証券		%	千円	千円		
	1370国庫短期証券	—	120,000	119,986	2026/06/22	
	1377国庫短期証券	—	80,000	79,927	2026/07/27	
	1385国庫短期証券	—	130,000	129,728	2026/09/07	
合 計	銘 柄 数 金 額	3銘柄	330,000	329,642		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2025年12月9日）

（作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

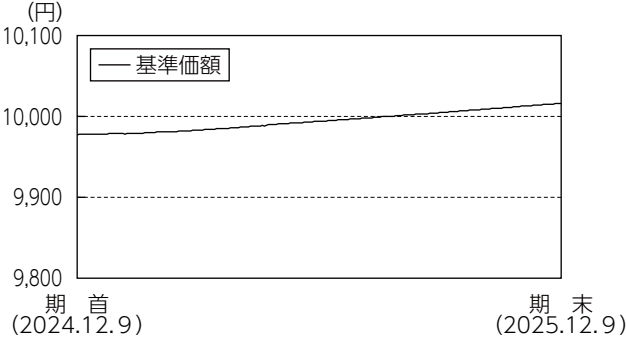
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2024年12月9日	9,977	—	56.7
12月末	9,978	0.0	60.5
2025年1月末	9,980	0.0	60.5
2月末	9,982	0.1	60.4
3月末	9,985	0.1	58.7
4月末	9,989	0.1	65.8
5月末	9,992	0.2	71.2
6月末	9,996	0.2	60.0
7月末	10,000	0.2	65.2
8月末	10,003	0.3	58.5
9月末	10,007	0.3	70.1
10月末	10,011	0.3	70.1
11月末	10,015	0.4	55.2
(期末)2025年12月9日	10,016	0.4	55.6

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,977円 期末：10,016円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円	千円
	国債証券	2,268,033	539,818 (1,320,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1331国庫短期証券	2025/12/15	439,529	1277国庫短期証券	2025/3/31	299,862
1277国庫短期証券	2025/3/31	319,885	1284国庫短期証券	2025/5/7	79,994
1314国庫短期証券	2025/9/22	199,818	1289国庫短期証券	2025/5/26	59,985
1333国庫短期証券	2025/12/22	199,768	1266国庫短期証券	2025/2/10	49,991
1312国庫短期証券	2025/9/16	189,801	1290国庫短期証券	2025/6/2	49,984
1322国庫短期証券	2025/11/4	179,822			
1306国庫短期証券	2025/8/18	129,931			
1296国庫短期証券	2025/6/30	129,880			
1297国庫短期証券	2025/7/7	99,919			
1290国庫短期証券	2025/6/2	99,916			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当			期			末
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	640,000	639,935	55.6	—	—	—	55.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期		末	
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1331国庫短期証券	%	千円 440,000	千円 439,968	2025/12/15
	1333国庫短期証券	—	200,000	199,966	2025/12/22
合計	銘柄数 金額	2銘柄	640,000	639,935	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項目	当		期		末
	評価額	比率			
公社債	千円 639,935	% 55.6			
コール・ローン等、その他	511,912	44.4			
投資信託財産総額	1,151,847	100.0			

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項目	当	期	末
(A) 資産	1,151,847,919円		
コール・ローン等	511,912,790		
公社債(評価額)	639,935,129		
(B) 負債	—		
(C) 純資産総額(A－B)	1,151,847,919		
元本	1,149,984,969		
次期繰越損益金	1,862,950		
(D) 受益権総口数	1,149,984,969口		
1万口当り基準価額(C／D)	10,016円		

* 期首における元本額は406,872,006円、当作成期間中における追加設定元本額は3,167,347,149円、同解約元本額は2,424,234,186円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）1,952円
 ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）1,908円
 ダイワ/バリュース・パートナーズ・チャイナ・インベーター・ファンド1,978円
 S＆P500（マルチアイ搭載）53,128,430円
 iFreeETF S＆P500ダブルリンパース1,096,849,682円
 ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）1,019円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,016円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項目	当	期
(A) 配当等収益	3,312,570円	
受取利息	3,312,570	
(B) 有価証券売買損益	△ 102,481	
売買益	288	
売買損	△ 102,769	
(C) 当期損益金(A＋B)	3,210,089	
(D) 前期繰越損益金	△ 915,830	
(E) 解約差損益金	2,807,340	
(F) 追加信託差損益金	△3,238,649	
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	1,862,950	
次期繰越損益金(G)	1,862,950	

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。